

★事件の概要

1 事件発生年月日時刻及び場所

平成20年2月19日 04時07分少し前

千葉県野島埼灯台から189.6度22.93海里の地点

2 事件の経過

あたごは、舞鶴港を基地とする第3護衛隊群に所属する排水量7,750トンのイージスシステム搭載の護衛艦で、艦長ほか280人が乗り組み、アメリカ合衆国ハワイ沖で装備認定試験を終え、平成20年2月6日10時02分（現地時間）パールハーバーを発し、神奈川県横須賀港に向けて航行中、また清徳丸は、船長ほか1人が乗り組み、マダロはえなわ漁の目的で、2月19日00時55分千葉県勝浦東部漁港川津地区を発し、三宅島北方海域に向け航行中、前記の日時及び地点において、あたごの艦首部と清徳丸左舷中央部が衝突した。

当時、天候は晴で風力2の北東風が吹き、視界は良好であった。

衝突の結果、あたごは艦首部に擦過傷を生じ、清徳丸は船体中央部で分断され、船長及び甲板員が行方不明となり、のちいずれも死亡と認定された。